

殿

アース線付 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形

仕様書

(VVF(G))

SFCC株式会社



協和電線工業株式会社

アース線付 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形
(VVF(G))

1. 適用規格

この仕様書の適用規格を次に示す。特に指定のない限り、規格は最新版を適用する。

JIS C 3342	600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル
JIS C 3005	ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法
JCS 4519	アース線付 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル

2. 構造

付表、断面図及び次による。

- (1) 導体 : JIS C 3102 に準じた電気用軟銅線による単線
- (2) 絶縁体 : ビニル
平均厚さ : 付表の値の 90%以上
最小厚さ : 付表の値の 80%以上
- (3) 線心の識別 : 絶縁体又は絶縁体表面の着色による。
2 心 : 黒・白
アース線 : 緑 (1.6mm)
- (4) シース : ビニル
色 : 灰色
平均厚さ : 付表の値の 90%以上
最小厚さ : 付表の値の 80%以上

3. ケーブルの表示

適切などころに次の事項を連続表示する。

- (1) ブランド名 (SWCC・FURUKAWA)
- (2) 電気用品表示 (PSE マーク)
- (3) 製造業者略号 (KYOWA)
- (4) 製造年
- (5) 記号 (VVF(G))
- (6) 心数・導体サイズ (2×2.0+1.6(アース))
- (7) 鉛フリービニルの表示 (LFV)
- (8) ストレートライン (一体型の場合)

4. 試験

JIS C 3005 により工場出荷前に次の試験を行う。

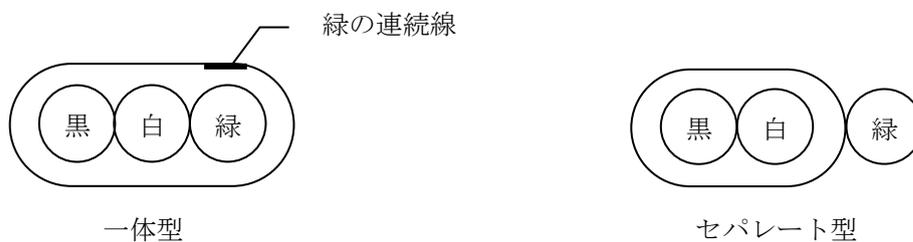
- (1) 外観
- (2) 構造
- (3) 導体抵抗
- (4) 耐電圧 (水中又は空中のいずれかによる。)
- (5) 絶縁抵抗

5. 包装
1条ずつドラム巻き又はたば巻きとし、運搬中損傷の恐れがないように適切な方法で行う。
6. 特性
下表の通りとする。

項目		特性	
導体抵抗		付表の値以下	
耐電圧	水中	付表の試験電圧に1分間耐えること。	
	空中	付表の2倍の試験電圧に1分間耐えること。	
絶縁抵抗		付表の値以上	
絶縁体及びシースの引張り	絶縁体	引張強さ	10MPa 以上
		伸び	100%以上
	シース	引張強さ	10MPa 以上
		伸び	120%以上
加熱 (100±2℃×48 時間)	絶縁体、シース	引張強さ	加熱前の値の 85%以上
		伸び	加熱前の値の 80%以上
耐油 (70±2℃×4 時間)	絶縁体	引張強さ	浸油前の値の 85%以上
		伸び	浸油前の値の 85%以上
	シース	引張強さ	浸油前の値の 80%以上
		伸び	浸油前の値の 60%以上
巻付加熱(120±3℃)		絶縁体 シース	表面にひび、割れを生じないこと。
低温巻付け(-10±1℃)		絶縁体	
耐寒(-15±0.5℃)		シース	試験片が破壊しないこと。
加熱変形(120±3℃×0.5 時間)		絶縁体 シース	厚さの減少率 50%以下
難燃(傾斜試験)		完成品	60 秒以内に自然に消えること。

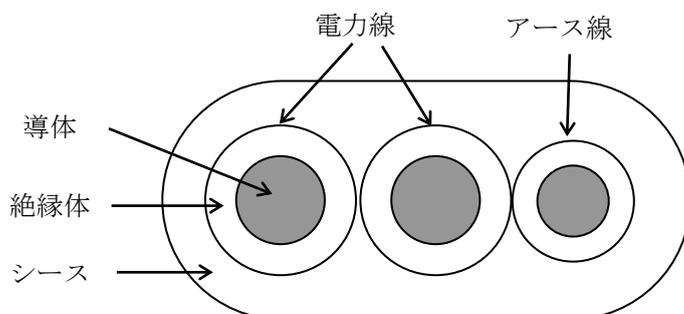
識別・配列図

2心+アース線



断面図

例：一体型



付表 アース線付 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形 (VVF(G)) 一体型

線心数	導體径 mm	絶縁体 厚さ mm	シース 厚さ mm	仕上外径 (約) mm	最大 導體抵抗 (20℃) Ω/km	試験電圧 V	最小 絶縁抵抗 (20℃) MΩ・km	参考	
								概算質量 kg/km	標準条長 m
3	2	2.0	1.5	6.6×13.5	5.65	1500	50	160	100
	1	1.6			8.92				

付表 アース線付 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形 (VVF(G)) セパレート型

線心数	導體径 mm	絶縁体 厚さ mm	シース 厚さ mm	仕上外径 (約) mm	最大 導體抵抗 (20℃) Ω/km	試験電圧 V	最小 絶縁抵抗 (20℃) MΩ・km	参考	
								概算質量 kg/km	標準条長 m
3	2	2.0	1.5	6.6×13.5	5.65	1500	50	160	100
	1	1.6	—		8.92				